

教養科目

4年間を通して学ぶ教養科目は、映画をつつたり映画について考えるときに必要な教養を、幅広く身につけるための科目群です。基幹以外の5つの群から興味のあるものを選んで、さまざまな分野についての知識を深めることができます。

履修のポイント

- ・基幹の「ベーシック・スキル」1・2・3と「人間総合研究」は必修科目です。他は選択科目です。
- ・教養科目は、5つの群からそれぞれ1科目、合計10単位以上を修得しなければなりません。
- ・10単位を超えた教養科目（α）と、4単位を超えた専門基礎科目（β）をあわせて38単位以上になるように履修してください。
- ・科目名のローマ数字（Ⅰ・Ⅱ）は順番に履修しなければならない科目、アラビア数字（1～6）は順番に関係なく自由に選択できる科目（必修を除く）です。
- ・指定されている配当年次以外での履修はできません。
- ・◇印は特に映画に関連の深い「映画領域」の科目です。茶色の科目は「映画ソムリエ」科目です。履修の際の目安にしてください。

丸数字：単位 ◇印：映画領域 茶色：「映画ソムリエ」科目

科目群	1年		2年		3年・4年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
基幹 (必修)	ベーシック・スキル1 ②			ベーシック・スキル3 ②		
	ベーシック・スキル2 ②					
	人間総合研究 ⑧					
映画史	◇日本映画史1 ②	◇日本映画史1 ②	◇ドキュメンタリー映画史 ②			
	◇映画史概論 ②	◇映画史概論 ②				
		◇日本映画史2 ②				
	◇映画史基礎 ② (2年間かけて修得する科目。1年次は仮登録、2年次に履修登録を行う。)					
映画文化	◇映画分析論 ②	◇テーマ研究1 ②	◇映画解釈論 ②	◇テーマ研究2 ②	◇テーマ研究3 ②	◇テーマ研究4 ②
	表象文化論1 ②	サブ・カルチャー論 ②		表象文化論2 ②	◇フィルム・アーカイヴ ②	◇テーマ研究5 ②
					◇アニメーション・特撮文化論 ②	日本文化論 ②
文学・芸術	文芸映画論 ②	◇映画と文学 ②	写真論 ②	◇映画と演劇 ②	◇映画と音楽 ②	映像と美術 ②
		芸能概論 ②	ファッション文化史 ②	文学 ②	◇映画と哲学 ②	
			美術史1 ②	美術史2 ②	演劇史 ②	
					英米文学 ②	
歴史・社会科学	◇映画で学ぶ歴史と社会1 ②	◇映画で学ぶ歴史と社会2 ②	◇映画流通論 ②	◇デジタル映像技術概論 ②	◇映画で学ぶ歴史と社会3 ②	◇映画で学ぶ歴史と社会4 ②
			社会学 ②		映画と法 ②	◇映画で学ぶ歴史と社会5 ②
						◇映画で学ぶ歴史と社会6 ②
コミュニケーション		中国語 ②	英語1 ②	韓国語 ②	英語2 ②	英語3 ②
					◇こども映画教育Ⅰ ②	◇こども映画教育Ⅱ ② 【夏期集中】
						キャリア・サポート ② ※3年のみ
					インターシップ ② 【通年】	
		◇国際合同制作 ④ 【通年】※隔年開講		◇国際合同制作 ④ 【通年】※隔年開講		◇国際合同制作 ④ 【通年】※隔年開講

基礎科目

基礎科目は、1年次から2年次前期に配当されています。映画づくりに必要な基礎知識と技術を修得するための科目です。

系・コースに分かれるまでのながれ

1年次 前期	大学での学びへの導入「ベーシック・スキル」1・2（教養科目） 大学で学ぶために必要な心構えと基礎的な力を、複数の教員による講義とワークショップを通して身につけます。
	脚本の基礎を学ぶ「脚本基礎演習」 脚本の書き方の基本を修得します。
	創ることの基本を学びチームワークを磨く「人間総合研究」（教養科目） 本学の看板授業。仲間とともに作品をつくり上げていく力を実践的に身につけます。
▼	
1年次 後期	映画制作の基礎を学ぶ「映画制作基礎演習」 デジタルでの映画制作を学びます。映画作りの全工程を一通り体験し、系・コース選択への道筋をつけます。
	本格的な脚本の書き方を学ぶ「長編シナリオ演習Ⅰ」 劇場映画の長さのシナリオを書くための実践的な方法を修得します。
▼ ここで系またはコースを選択します。	
1年次 春休み	春休みに200枚のシナリオを各自で執筆します。
▼ 2年次からは系またはコースに分かれて学びます。	
2年次 前期	脚本を書くために不可欠な“直し”の技術を修得する「長編シナリオ演習Ⅱ」 自分の書いたシナリオを丁寧に直していくことで、よりよいものに仕上げていきます。
▼	
2年次 前期	高度な学びのための準備「ベーシック・スキル」3（教養科目） 3・4年次の専門コースでの学びに必要な読解力と表現力を、複数の教員による講義とワークショップを通して身につけます。

履修のポイント

・基礎科目はすべて必修科目です。必ず修得しなければなりません。

丸数字：単位

	1年		2年
	前期	後期	前期
基礎科目	脚本基礎演習 ②	映画制作基礎演習 ⑧ 長編シナリオ演習Ⅰ ②	長編シナリオ演習Ⅱ ②

専門基礎科目

専門基礎科目は、原則として2年次から3年次に配当されています（「演劇WS」は1年次、「上映企画WSⅡ」は4年次）。1年次に修得した基礎的な知識と、2年次から系・コースに進んで学ぶ専門的な知識をつなぎ、段階的にそれぞれの専門性を補完するための科目です。授業はWS（ワークショップ）形式で行われ、体験をとおして知識や技術を修得できるようになっています。

履修のポイント

- ・専門基礎科目はすべて選択必修科目です。2科目、合計4単位以上を修得しなければなりません。4単位以上は選択科目として扱われます。
- ・4単位を超えた専門基礎科目（β）と、10単位を超えた教養科目（α）をあわせて38単位以上になるように履修してください。
- ・指定されている配当年次以外での履修はできません。
- ・すべての系・コースの学生が履修できます。

丸数字：単位 茶色は「映画ソムリエ」科目

	2年		3年	
	前期	後期	前期	後期
専門基礎科目	ドキュメンタリーWS ② デジタル動画WS ②	演出論Ⅰ ② 録音WS ② 動画配信WS ② 映画美術演習Ⅰ ②【夏期集中】 映画美術演習Ⅱ ②【春期集中】	脚本WS ② 編集WS ② 特殊撮影・VFX基礎 ②	演出論Ⅱ ② 特殊撮影・VFX WS ② 上映企画WSⅠ ②
	演劇WS ②【春期集中】 ※1年後期	映画プロデュースWS ②		上映企画WSⅡ ② ※4年前期

専門科目

専門科目は、2年次から4年次に配当されています。系・コースに分かれて専門性を深めていくための科目です。4年次には、身につけた知識と技術を総動員して、学修の集大成としての卒業制作に取り組みます。

履修のポイント

・専門科目はすべて選択必修科目です。系・コースごとに履修しなければならない科目が決められています。他の系やコースの科目の履修はできません。

丸数字：単位

		2年			3年		4年	
		前期	後期		前期	後期	前期・後期	
演出系		演出基礎演習Ⅰ⑧ (ドキュメンタリー)	演出基礎演習Ⅱ⑧ (ワンシーン)	コース 選 択	ドキュメンタリーコース	ドキュメンタリー専門演習Ⅰ⑧	ドキュメンタリー専門演習Ⅱ⑧	卒業制作⑫ (ドキュメンタリー)
	身体表現・俳優コース				身体表現専門演習⑧		卒業制作⑫ (公演)	
	演出コース				演出専門演習⑧ (3分エチュード)			
技術系	撮影照明コース	撮影照明基礎演習⑧	撮影照明専門演習⑧	▶	撮影照明コース		合同制作⑧	卒業制作⑫ (ドラマ)
	録音コース	録音基礎演習⑧	録音専門演習⑧	▶	録音コース	技術合同演習⑧		
	編集コース	編集基礎演習⑧	編集専門演習⑧	▶	編集コース			
文章系	雑誌制作⑧		インプロビゼーション演習⑧	コース 選 択	脚本コース	脚本専門演習Ⅰ⑧ (短編映画制作)	脚本専門演習Ⅱ⑧ (脚色)	卒業制作⑫ (シナリオ)
					文芸コース	文芸専門演習Ⅰ⑧ (読解・ライティングWS)	文芸専門演習Ⅱ⑧ (批評)	卒業制作⑫ (文芸)

履修証明プログラム

履修証明プログラムとは、本学の学士課程（卒業要件を満たすと学士（映画学）が授与されます）とは別に、特別に設けられた課程です。体系的な知識・技術等の習得のために、一定の教育計画の下に編成された教育プログラムです。目的・内容に応じて総時間数120時間以上で設定されています。プログラムの修了者には履修証明書が交付されます。本学には、「映画ソムリエ」プログラムがあります。

〈映画ソムリエ〉 お酒の世界にソムリエがいるように、映画の"目利き"を目指す！

日本唯一の映画単科大学でなければ用意できない格別なプログラムです。映画の持つ力。それは人々の日々の暮らしに活力と希望を与え、実生活では稀にしか訪れない「人生の真実に触れる喜び」を提供します。「映画ソムリエ」プログラムは、この映画の力を見極め、社会と個人からの多様な要望に応える能力を磨きます。4年間を通して、映画の過去と今日、そして未来まで多視点から俯瞰分析し、映画と社会、映画と人々を繋ぎ、映画によって人生を語る力を修得します。映画ソムリエは、映画によって人生を熟成させる者の呼称です。

1年次	映画についての基礎的な知識を修得し、映画史への理解を深める 「日本映画史Ⅰ」、「映画史概論」で映画の歴史を体系的に学びます。「映画史基礎」では、2年間かけて映画史上重要な50作品を鑑賞し、レポートを作成することで、学んだ映画史に肉付けをします。
2年次	修得した映画の知識を活用するための方法を身につける 「映画流通論」では、映画の企画から完成した作品を観客に届けるまでの流れ（企画・製作・配給・宣伝・興行・映画祭・批評）を学び、それぞれの仕事についての理解を深めます。「映画プロデュースWS」では、プロデューサーの仕事を理解した上で4週間のワークショップを行い、映画作りの根本である企画開発と企画書の作成を実践します。
3年次	これまで学んだことを応用して上映プログラムを立案する 「上映企画WSⅠ」では、これまで修得した知識を総動員して上映プログラムを立案し、自分たちが映画祭をつくります。また「映画と法」では、映画の製作から上映までの過程に関わる法的な知識を学びます。
4年次	実際に劇場で映画祭を行う 「上映企画WSⅡ」では、最終到達地点として自分たちが企画した映画祭を実践します。

履修のポイント

- ・「映画ソムリエ」プログラムの履修証明書を得るためには、以下のすべての科目を修得しなければなりません。
- ・「上映企画WSⅠ」は、*印の科目を修得していないと履修することができません。
- ・「上映企画WSⅡ」は、「上映企画WSⅠ」を修得していないと履修することができません。
- ・すべての科目が卒業必要単位（124単位）に含まれます。

	対応する科目名等	対応する科目区分	単位	授業形態	コマ数	配当年次・学期
必修	日本映画史Ⅰ*	教養科目	2	講義	15	1年 前・後期
	映画史概論	教養科目	2	講義	15	1年 前・後期
	映画史基礎*	教養科目	2	演習	15	1-2年 通年
	映画流通論*	教養科目	2	講義	15	2年 前期
	映画プロデュースWS*	専門基礎科目	2	演習	15	2年 後期
	映画と法	教養科目	2	講義	15	3年 前期
	上映企画WSⅠ	専門基礎科目	2	演習	15	3年 後期
	上映企画WSⅡ	専門基礎科目	2	実習	15	4年 前期
	単位計			16		120

演出コース

映画表現の本質を理解し、作品世界に対する多様な視点と観察力を身につけます。共同作業の中で映画演出の方法を体得し、コミュニケーション能力の向上を図ります。

系・コースに進んでからの学びのながれ

「演出系」として合同で授業を行います。

2年次前期	人間と映画の多様性についての理解を深める「演出基礎演習Ⅰ〈ドキュメンタリー〉」 短編ドキュメンタリーの制作を通して、映画制作フローの多様性を学びます。取材対象者との交流を深めながら自らの人間観を拓き、現実を生きる人間を活写することの難しさと、人間に相対することの面白さを学びます。
2年次後期	脚本と演出についての理解を深める「演出基礎演習Ⅱ〈ワンシーン〉」 数行の脚本をテキストに、そこに書かれている行為、出来事、人物を映像化していきます。ロケハン、美術準備、演技指導、カット割り、編集という工程を繰り返すことで、シナリオの読解力と演出の基本を学びます。
ここで、「演出」・「身体表現・俳優」・「ドキュメンタリー」のコース分けを行います。	
3年次前期	一人1本、3分間の作品を作る「演出専門演習〈3分エチュード〉」 全員が一人1本、3分間の作品を企画、脚本執筆、監督します。映画演出の方法と映画のリテラシーを実践の中で修得します。
3年次後期	15分の短編映画を作る「合同制作」 脚本選びからキャスティング、ロケハンなどの制作準備を経て、身体表現・俳優、撮影照明、録音、編集コースと打合せを重ねながら、15分の短編映画を作ります。各コースに分かれて学んできた学生が一本の台本の元集まり、各部の主張の中で一つの作品を作り上げることによって、卒業制作に向けたスキルの向上を図ります。
4年次	4年間の集大成「卒業制作〈ドラマ〉」 これまで修得したあらゆる知識と技術を総動員して、一般公開できるレベルの作品を制作します。出来上がった作品の上映まで自分たちの手で行うことで、映画をどのように観客に届けるのか、「見せる」ためのプロセスも体験的に学びます。

履修モデル

卒業必要単位数でモデル化したものです。実際は選択科目を増やしてこれ以上の単位を履修してください。

科目名後の丸数字は単位数

			1年次		2年次		3年次		4年次		
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
必修	教養	基幹	ベーシック・スキル1 ②			ベーシック・スキル3 ②					
		基礎	ベーシック・スキル2 ② 人間総合研究⑧								
計28単位			脚本基礎演習②	映画制作基礎演習⑥ 長編シナリオ演習Ⅰ ②	長編シナリオ演習Ⅱ ②						
	選択必修	専門			演出基礎演習Ⅰ⑧ 〈ドキュメンタリー〉	演出基礎演習Ⅱ⑧ 〈ワンシーン〉	演出専門演習⑧ 〈3分エチュード〉	合同制作⑧	卒業制作〈ドラマ〉⑩【通年】		
計48単位		専門基礎			ドキュメンタリーWS②	演出論Ⅰ ②					
	選択	専門基礎 3科目めからは選択 科目に算入			デジタル動画WS②	映画美術演習Ⅰ ② 映画プロデュースWS②	脚本WS② 編集WS②	演出論Ⅱ ②			
計48単位	教養	映画史	日本映画史1 ②	映画史概論② 日本映画史2 ②	ドキュメンタリー映画史②						
			映画史基礎② (単位付与は2年後期)								
		映画文化		テーマ研究1 ②				テーマ研究3 ②	テーマ研究5 ②		
		文学・芸術	文芸映画論②			映画と演劇②				映画と音楽②	
		歴史・社会科学	映画で学ぶ歴史と社会1 ②	映画で学ぶ歴史と社会2 ②	映画流通論②				映画で学ぶ歴史と社会4 ②	映画で学ぶ歴史と社会5 ②	
	コミュニケーション						こども映画教育Ⅰ ②	キャリア・サポート②			
合計124単位			計 20単位	計 18単位	計 18単位	計 20単位	計 16単位	計 16単位	計 2単位	計 14単位	

身体表現・俳優コース

映画の作り方を学ばなから、舞台の上やカメラの前に立って自然に動くための技術を身につけます。肉体訓練を通じて身体感覚を発見し、演技を通じて他者との関係を意識し、観客の前で表現することを目指します。

系・コースに進んでからの学びのながれ

「演出系」として合同で授業を行います。

2年次前期	人間と映画の多様性についての理解を深める「演出基礎演習Ⅰ〈ドキュメンタリー〉」 短編ドキュメンタリーの制作を通して、映画制作フローの多様性を学びます。取材対象者との交流を深めながら自らの人間観を拡げ、現実を生きる人間を活写することの難しさと、人間に相對することの面白さを学びます。
2年次後期	脚本と演出についての理解を深める「演出基礎演習Ⅱ〈ワンシーン〉」 数行の脚本をテキストに、そこに書かれている行為、出来事、人物を映像化していきます。ロケハン、美術準備、演技指導、カット割り、編集という工程を繰り返すことで、シナリオの読解力と演出の基本を学びます。
ここで、「演出」・「身体表現・俳優」・「ドキュメンタリー」のコース分けを行います。	
3年次前期	俳優としての基本態度を学びながら、演劇作品を作る「身体表現専門演習」 自己の身体を意識し、コントロールする（鍛練）、他者によって自己の心身が変化する（対話）、身体を通じて内面を他者に伝える方法を模索する（表現）、これらをワークショップをとおして学びます。自らの身体的個性を発見することを目標に、多様な演劇体験をしながら舞台作品をつくります。
3年次後期	15分の短編映画を作る「合同制作」 脚本選びからキャスティング、ロケハンなどの制作準備を経て、演出、撮影照明、録音、編集コースと打合せを重ねながら、15分の短編映画を作ります。各コースに分かれて学んできた学生が一本の台本の元集まり、各部の主張の中で一つの作品を作り上げることによって、卒業制作に向けたスキルの向上を図ります。
4年次	4年間の集大成「卒業制作〈公演〉」 これまで修得したあらゆる知識と技術を総動員して、卒業公演に取り組みます。

履修モデル

卒業必要単位数でモデル化したものです。実際は選択科目を増やしてこれ以上の単位を履修してください。

科目名後の丸数字は単位数

			1年次		2年次		3年次		4年次	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
必修	教養	基幹	ベーシック・スキル 1 ②			ベーシック・スキル 3 ②				
		基礎	ベーシック・スキル 2 ② 人間総合研究⑧							
計28単位		基礎	脚本基礎演習②	映画制作基礎演習⑧ 長編シナリオ演習Ⅰ②	長編シナリオ演習Ⅱ②					
		専門			演出基礎演習Ⅰ⑧ 〈ドキュメンタリー〉	演出基礎演習Ⅱ⑧ 〈ワンシーン〉	身体表現専門演習⑧	合同制作⑧	卒業制作〈公演〉②【通年】	
計48単位		専門基礎		演劇WS②		演出論Ⅰ②				
		選択	専門基礎 3科目めからは選択科目に算入		ドキュメンタリーWS② デジタル動画WS②	映画美術演習Ⅰ②	脚本WS②	演出論Ⅱ②		
計48単位	教養	映画史	日本映画史Ⅰ②	映画史概論② 日本映画史Ⅱ②	ドキュメンタリー映画史②					
			映画史基礎②（単位付与は2年後期）							
		映画文化	表象文化論Ⅰ②				テーマ研究Ⅲ②	テーマ研究Ⅳ②	アニメーション・特撮文化論②	テーマ研究Ⅴ②
		文学・芸術		芸能概論②	ファッション文化史②	映画と演劇②	演劇史②	映像と美術②		
		歴史・社会科学	映画で学ぶ歴史と社会Ⅰ②		映画流通論②		映画で学ぶ歴史と社会Ⅲ②			
	コミュニケーション						キャリア・サポート②			
合計124単位			計 20単位	計 18単位	計 20単位	計 18単位	計 16単位	計 16単位	計 2単位	計 14単位

ドキュメンタリーコース

ノンフィクションもまたフィクションであることを理解し、映像と現実の不一致を確かめながら、メディアのあり方やジャーナリズムの役割について探究します。カメラを通して人間と向き合うとはどういうことか、映像によるコミュニケーションの多様性を学びます。

系・コースに進んでからの学びのながれ

「演出系」として合同で授業を行います。

2年次前期	人間と映画の多様性についての理解を深める「演出基礎演習Ⅰ〈ドキュメンタリー〉」 短編ドキュメンタリーの制作を通して、映画制作フローの多様性を学びます。取材対象者との交流を深めながら自らの人間観を拡げ、現実を生きる人間を活写することの難しさと、人間に相對することの面白さを学びます。
2年次後期	脚本と演出についての理解を深める「演出基礎演習Ⅱ〈ワンシーン〉」 数行の脚本をテキストに、そこに書かれている行為、出来事、人物を映像化していきます。ロケハン、美術準備、演技指導、カット割り、編集という工程を繰り返すことで、シナリオの読解力と演出の基本を学びます。
3年次前期	複数のワークショップをとおして実践的な技術を身につける「ドキュメンタリー専門演習Ⅰ」 「街を撮る」、「部屋を撮る」、「暮らしを撮る」という3つのワークショップで言葉に頼らない映像表現について考えます。次いで「インタビューを撮る」という実習を通して主人公の感情を表現するインタビューの撮影法を学びます。最後に、学んだすべての表現手法を用いて「学生の日を撮る」という実習を行います。
3年次後期	企画を立てる力を身につけ、ドキュメンタリーの可能性を探る「ドキュメンタリー専門演習Ⅱ」 企画のあり方とドキュメンタリーの多様性について考えます。自分たちで企画を立案し、取材対象者や出来事へのアプローチ方法、主題の広がりについて議論を繰り返して作品の可能性を検証します。卒業制作に向けて、ドキュメンタリー制作の過程とスタッフの役割、主題と手法についての理解を深めます。
4年次	4年間の集大成「卒業制作〈ドキュメンタリー〉」 これまで修得したあらゆる知識と技術を総動員して、一般公開できるレベルの作品を制作します。出来上がった作品の上映まで自分たちの手で行うことで、映画をどのように観客に届けるのか、「見せる」ためのプロセスも体験的に学びます。

履修モデル

卒業必要単位数でモデル化したものです。実際は選択科目を増やしてこれ以上の単位を履修してください。

科目名後の丸数字は単位数

			1年次		2年次		3年次		4年次		
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
必修	教養	基幹	ベーシック・スキル1②			ベーシック・スキル3②					
		基礎	ベーシック・スキル2② 人間総合研究⑧	映画制作基礎演習⑧ 長編シナリオ演習Ⅰ②	長編シナリオ演習Ⅱ②						
選択必修	教養	専門			演出基礎演習Ⅰ⑧ (ドキュメンタリー)	演出基礎演習Ⅱ⑧ (ワンシーン)	ドキュメンタリー 専門演習Ⅰ⑧	ドキュメンタリー 専門演習Ⅱ⑧	卒業制作(ドキュメンタリー)⑩【通年】		
		専門基礎			ドキュメンタリーWS②	映画プロデュースWS②					
選択	教養	専門基礎 3科目めからは選 択科目に算入			デジタル動画WS②	動画配信WS②	編集WS② 特殊撮影・VFX基礎②				
		映画史	日本映画史1②	映画史概論②	ドキュメンタリー映画史②						
		映画史基礎②(単位付与は2年後期)									
		映画文化	表象文化論1②	テーマ研究1②		テーマ研究2②		日本文化論②			
		文学・芸術		芸能概論②	写真論②					映画と哲学②	
選択	教養	歴史・社会科学	映画で学ぶ歴史と社会1②	映画で学ぶ歴史と社会2②	映画流通論②		映画と法②	映画で学ぶ歴史と社会4②		映画で学ぶ歴史と社会6②	
		コミュニケーション					こども映画教育Ⅰ②	こども映画教育Ⅱ② キャリア・サポート②			
合計124単位			計 20単位	計 18単位	計 20単位	計 18単位	計 16単位	計 16単位	計 2単位	計 14単位	

撮影照明コース

映像の歴史と技術を知り、ドラマを映像というかたちで具現化する方法を探究します。脚本の理解、的確な照明やフレーミング、カメラワークなどの映像表現技術を身につけます。

コースに進んでからの学びのながれ

2年次前期	撮影・照明の基礎知識を身につける「撮影照明基礎演習」 撮影・照明についての基礎知識（露出・照明比・色温度の特性やフレーム感覚）を、実際の機材を使ってワークショップ形式で学びます。また、録音、編集コースと合同で短編作品を制作することで技術パートの連携を理解します。
2年次後期	デジタルシネマ技術の特性を理解する「撮影照明専門演習」 デジタルによる短編映画の制作をとおして、デジタルシネマ技術への理解と、撮影現場のスムーズな運営について学び、撮影照明技術を高めます。
3年次前期	撮影と照明についての理解を深め、実践的なスキルを身につける「技術合同演習」 これまで修得してきた基礎知識を応用して、より実践的な機材の扱いと撮影照明技術を修得します。録音、編集コースと合同で短編作品を制作することで技術パートの連携を深めるとともに、プロの演出家とどう対峙して作品と向き合うかを学びます。
3年次後期	15分の短編映画を作る「合同制作」 演出、身体表現・俳優、録音、編集コースと合同で15分の短編映画制作を行います。多くのスタッフ、パートと協力して作品を作ることで、コミュニケーション能力と多角的視点を身につけます。また、CM制作などを行い、卒業制作に向けて撮影照明の技術を高めます。
4年次	4年間の集大成「卒業制作(ドラマ)」 これまで修得したあらゆる知識と技術を総動員して、一般公開できるレベルの作品を制作します。出来上がった作品の上映まで自分たちの手で行うことで、映画をどのように観客に届けるのか、「見せる」ためのプロセスも体験的に学びます。

履修モデル

卒業必要単位数でモデル化したものです。実際は選択科目を増やしてこれ以上の単位を履修してください。

科目名後の丸数字は単位数

			1年次		2年次		3年次		4年次	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
必修	教養	基幹	ベーシック・スキル 1 ②			ベーシック・スキル 3 ②				
		基礎	ベーシック・スキル 2 ② 人間総合研究⑧							
選択必修	教養	専門			撮影照明基礎演習⑧	撮影照明専門演習⑧	技術合同演習⑧	合同制作⑧	卒業制作(ドラマ)⑫[通年]	
		専門基礎			デジタル動画WS②	動画配信WS②				
選択	教養	専門基礎			ドキュメンタリー-WS②	映画美術演習 I ②	編集WS②	特殊撮影・VFX WS②		
		映画史	映画史概論②	日本映画史 1 ②	ドキュメンタリー-映画史②					
				日本映画史 2 ②						
			映画史基礎② (単位付与は2年後期)							
			映画分析論②	テーマ研究 1 ②				テーマ研究4②		テーマ研究5②
			文学・芸術			写真論②		映画と音楽②		
	歴史・社会科学	映画で学ぶ歴史と社会 1 ②	映画で学ぶ歴史と社会 2 ②	映画流通論②	デジタル映像技術概論②			映画と法②		
	コミュニケーション					こども映画教育 I ②	こども映画教育 II ②			
						キャリア・サポート②				
合計124単位			計 20単位	計 18単位	計 20単位	計 18単位	計 16単位	計 16単位	計 2単位	計 14単位

録音コース

映画を聴覚の側面から捉えなおし、音による表現の技術と方法を探求します。撮影現場での録音からスタジオでの整音、加工、最終ミックスまで、映画の音をつくるすべてのプロセスを実践的に学びます。

コースに進んでからの学びのながれ

2年次前期	映画における音の役割を理解する「録音基礎演習」 録音とは何か、ミキシングとレコーディング、アフレコの技術を学び、現場からポストプロダクションまで関わる録音技術者の仕事の流れを理解します。また、撮影照明、編集コースと合同で短編作品を制作することで技術パートの連携を理解します。
2年次後期	高度な技術の修得を目指す「録音専門演習」 スタジオワークを学び、仕上げ作業の流れを理解するとともに、効果音やフォーリーへの造詣を深めます。プレイバック撮影、サラウンドなど、高度な技術課題について学びます。また、音声のみでの作品（音声ドラマ）制作も行います。
3年次前期	録音についての理解を深め、実践的なスキルを身につける「技術合同演習」 これまで修得してきた基礎知識を応用して、より実践的な機材の扱いと録音技術を修得します。撮影照明、編集コースと合同で短編作品を制作することで技術パートの連携を深めるとともに、プロの演出家とどう相対し作品と向き合うかを学びます。
3年次後期	15分の短編映画を作る「合同制作」 演出、身体表現・俳優、撮影照明、編集コースと合同で15分の短編映画制作を行います。多くのスタッフ、パートと協力して作品を作ることで、コミュニケーション能力と多角的視点を身につけます。ワイヤレスマイクを使用したマルチトラック録音の方法、デジタル化された映像・音声・編集データの取り扱いについて理解を深め、卒業制作に向けて録音の技術を高めます。
4年次	4年間の集大成「卒業制作(ドラマ)」 これまで修得したあらゆる知識と技術を総動員して、一般公開できるレベルの作品を制作します。出来上がった作品の上映まで自分たちの手で行うことで、映画をどのように観客に届けるのか、「見せる」ためのプロセスも体験的に学びます。

履修モデル

卒業必要単位数でモデル化したものです。実際は選択科目を増やしてこれ以上の単位を履修してください。

科目名後の丸数字は単位数

			1年次		2年次		3年次		4年次	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
必修	教養	基幹	ベーシック・スキル 1 ②			ベーシック・スキル 3 ②				
		基礎	ベーシック・スキル 2 ② 人間総合研究⑧							
選択必修	専門	基礎	脚本基礎演習②	映画制作基礎演習⑧ 長編シナリオ演習 I ②	長編シナリオ演習 II ②					
		専門基礎			録音基礎演習⑧	録音専門演習⑧	技術合同演習⑧	合同制作⑧	卒業制作(ドラマ)⑩ [通年]	
選択	教養	専門基礎 3科目めからは選択科目に算入			デジタル動画WS②	録音WS②				
		映画史	映画史概論②	日本映画史 1 ② 日本映画史 2 ②	ドキュメンタリー-映画史②					
		映画文化	表象文化論 1 ②	サブ・カルチャー論②	映画解釈論②			テーマ研究 4 ②		
		文学・芸術	文芸映画論②		写真論②			映画と音楽②		
		歴史・社会科学		映画で学ぶ歴史と社会 2 ②		デジタル映像技術概論②		映画で学ぶ歴史と社会 4 ②	映画と法②	映画で学ぶ歴史と社会 5 ②
		コミュニケーション						こども映画教育 I ②	こども映画教育 II ②	キャリア・サポート②
合計124単位			計 20単位	計 18単位	計 20単位	計 18単位	計 16単位	計 16単位	計 2単位	計 14単位

編集コース

映像をモンタージュ（編集）することによって新たな意味を生み出し、ドラマを語る方法を探究します。撮影された素材を新たに組み立てなおし、より深いドラマの解釈を提示するための技術を学びます。

コースに進んでからの学びのながれ

2年次前期	映画における編集の重要性を理解する「編集基礎演習」 編集の発生や成り立ちについて学び、道具や機材の取り扱い方などの基礎知識を修得します。実験的にモンタージュすることで映画における編集の重要性を認識します。また、撮影照明、録音コースと合同で短編作品を制作することで技術パートの連携を理解します。
2年次後期	高度な技術の修得を目指す「編集専門演習」 映像作成ソフトの使い方、フィルム編集、スクリプトの書き方など、高度な技術課題について学びます。30分程度のドラマ素材を用いた編集の実践、短編映画の編集を通して、限られた素材の中から選び出す能力と構成力を高めます。
3年次前期	編集についての理解を深め、実践的なスキルを身につける「技術合同演習」 これまで修得してきた基礎知識を応用して、より実践的な機材の扱いと編集技術を修得します。撮影照明、録音コースと合同で短編作品を制作することで技術パートの連携を深めるとともに、プロの演出家とどう相対し作品と向き合うかを学びます。
3年次後期	15分の短編映画を作る「合同制作」 演出、身体表現・俳優、撮影照明、録音コースと合同で15分の短編映画制作を行います。多くのスタッフ、パートと協力して作品を作ることで、コミュニケーション能力と多角的視点を身につけます。予告編の制作などを通して、卒業制作に向けて編集の技術を高めます。
4年次	4年間の集大成「卒業制作(ドラマ)」 これまで修得したあらゆる知識と技術を総動員して、一般公開できるレベルの作品を制作します。出来上がった作品の上映まで自分たちの手で行うことで、映画をどのように観客に届けるのか、「見せる」ためのプロセスも体験的に学びます。

履修モデル

卒業必要単位数でモデル化したものです。実際は選択科目を増やしてこれ以上の単位を履修してください。

科目名後の丸数字は単位数

			1年次		2年次		3年次		4年次		
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
必修	教養	基幹	ベーシック・スキル 1 ②			ベーシック・スキル 3 ②					
		基礎	ベーシック・スキル 2 ② 人間総合研究⑥								
計28単位			脚本基礎演習②	映画制作基礎演習⑧ 長編シナリオ演習 I ②	長編シナリオ演習 II ②						
選択必修	専門	専門			編集基礎演習⑧	編集専門演習⑧	技術合同演習⑧	合同制作⑧	卒業制作(ドラマ)⑫[1通年]		
		専門基礎			デジタル動画WS②		編集WS②				
計48単位	教養	専門基礎 3科目めからは選択科目に算入			ドキュメンタリーWS②	動画配信WS②	特殊撮影・VFX 基礎②	特殊撮影・VFX WS②			
		映画史	映画史概論②	日本映画史 1 ②	ドキュメンタリー映画史②						
				日本映画史 2 ②							
		映画史基礎② (単位付与は2年後期)									
		映画文化	映画分析論②	テーマ研究 1 ②	映画解釈論②	表象文化論 2 ②	フィルム・アーカイヴ②	テーマ研究 4 ②			
		文学・芸術			美術史 1 ②		映画と音楽②			映像と美術②	
歴史・社会科学	映画で学ぶ歴史と社会 1 ②	映画で学ぶ歴史と社会 2 ②			デジタル映像技術概論②		映画で学ぶ歴史と社会 5 ②	映画と法②			
	コミュニケーション						キャリア・サポート②				
合計124単位			計 20単位	計 18単位	計 20単位	計 18単位	計 16単位	計 16単位	計 2単位	計 14単位	

脚本コース

映画作りの要となる「脚本」を軸に、ことばと身体演技の関係とシナリオ作法、ドラマの本質と演出の技術についての理解を深め、多様な映画表現の可能性を探究します。

系・コースに進んでからの学びのながれ

「文章系」として合同で授業を行います。

2年次前期	活字出版の基本を身につける「雑誌制作」 自分たちで「文芸誌」を制作することで、企画、編集、原稿執筆からデザイナー・印刷所とのやりとりまで、紙媒体が出版されるまでの一連の制作フローを学びます。また、活字として表現されることの責任を理解します。
2年次後期	あらすじをもとに即興で演じることで、台詞やドラマの発生を主観で体験する「インプロビゼーション演習」 身体・心・頭のすべてを使って脚本を書くための基礎訓練です。台詞がない状態で人物の関係とあらすじ（プロット）だけを頼りにインプロビゼーション（即興）でシーンを作り、撮影し、脚本化します。それを書き直しながら再び撮影します。頭で書いた物語と、映像の中で生きている人物を描くことの差異を体験的に理解します。
ここで、「脚本」・「文芸」のコース分けを行います。	
3年次前期	30分の短編映画を作る「脚本専門演習Ⅰ〈短編映画制作〉」 脚本コースだけで全パートを担当し、短編映画を制作します。頭で書いたものを現場で立体化する経験を通して、字で伝えられることと画で伝えられることの差異を知り、他者に伝わる脚本とは何かを学びます。
3年次後期	原作小説を脚色して長編シナリオを書く「脚本専門演習Ⅱ〈脚色〉」 原作を元に長編シナリオを執筆します。小説とシナリオの違いを知り、映画表現とは何かを学びます。専門的な技術を修得すると同時に長編を書く持続力と体力を養います。
4年次	4年間の集大成「卒業制作(シナリオ)」 これまで修得したあらゆる知識と技術を総動員して、劇場用映画（250枚）のシナリオを執筆します。また、TVドラマのシナリオ（120枚）執筆にも取り組み、外部のコンクールに挑みます。完成したシナリオは「卒業シナリオ集」にまとめます。

履修モデル

卒業必要単位数でモデル化したものです。実際は選択科目を増やしてこれ以上の単位を履修してください。

科目名後の丸数字は単位数

			1年次		2年次		3年次		4年次	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
必修	教養	基幹	ベーシック・スキル1②			ベーシック・スキル3②				
		基礎	ベーシック・スキル2② 人間総合研究⑧							
計28単位	基礎		脚本基礎演習②	映画制作基礎演習⑧ 長編シナリオ演習Ⅰ②	長編シナリオ演習Ⅱ②					
		選択必修	専門		雑誌制作⑧	インプロビゼーション演習⑧	脚本専門演習Ⅰ⑧ 〈短編映画制作〉	脚本専門演習Ⅱ⑧ 〈脚色〉	卒業制作(シナリオ)⑫【通年】	
計48単位	専門基礎					演出論Ⅰ②	脚本WS②			
		選択	専門基礎			ドキュメンタリーWS② デジタル動画WS②	映画プロデュースWS②	編集WS②		
計48単位	教養	映画史	映画史概論②	日本映画史1② 日本映画史2②	ドキュメンタリー映画史②					
		映画文化		サブ・カルチャー論②				テーマ研究4②		日本文化論②
		文学・芸術	文芸映画論②	映画と文学②	ファッション文化史②	文学②	映画と哲学②		英米文学②	
		歴史・社会科学	映画で学ぶ歴史と社会1②		映画流通論②		映画で学ぶ歴史と社会3② 映画で学ぶ歴史と社会5②			
		コミュニケーション						キャリア・サポート②		
合計124単位			計 20単位	計 18単位	計 20単位	計 18単位	計 16単位	計 16単位	計 2単位	計 14単位

文芸コース

評論や小説を書くために必要な知識と方法を身につけます。言語世界を構築していくとはどういうことかを理解し、言葉として成立させるための技術、文章を書く力と持続力を徹底的に鍛えます。

系・コースに進んでからの学びのながれ

「文章系」として合同で授業を行います。

2年次前期	活字出版の基本を身につける「雑誌制作」 自分たちで「文芸誌」を制作することで、企画、編集、原稿執筆からデザイナー・印刷所とのやりとりまで、紙媒体が出版されるまでの一連の制作フローを学びます。また、活字として表現されることの責任を理解します。
2年次後期	あらすじをもとに即興で演じることで、台詞やドラマの発生を主観で体験する「インプロビゼーション演習」 身体・心・頭のすべてを使って脚本を書くための基礎訓練です。台詞がない状態で人物の関係とあらすじ（プロット）だけを頼りにインプロビゼーション（即興）でシーンを作り、撮影し、脚本化します。それを書き直ししながら再び撮影します。頭で書いた物語と、映像の中で生きている人物を描くことの差異を体験的に理解します。
ここで、「脚本」・「文芸」のコース分けを行います。	
3年次前期	自らの考えを適切に文章で表現するための技術を学ぶ「文芸専門演習Ⅰ〈読解・ライティングWS〉」 日本文学の古典を読解し、体感的に理解しながら書くことを通じて文学的なセンスと感覚を身につけます。多くの作品を読み、書く訓練をします。また、作品理解と取材のためにさまざまな場所に足を運びます。
3年次後期	様々なジャンルの批評を読む力・書く力を身につける「文芸専門演習Ⅱ〈批評〉」 映画批評、文芸批評、サブカルチャー批評の作品を取りあげ、それらが対象についていかに思考し、その思考を作品化しているかを学びます。問題意識と批評方法を発見・展開するための批評文の執筆、発表、議論を行い、読む力・書く力を高めます。
4年次	4年間の集大成「卒業制作(文芸)」 これまで修得したあらゆる知識と技術を総動員して、小説または評論の執筆に取り組みます。完成した作品は「卒業文集」にまとめます。

履修モデル

卒業必要単位数でモデル化したものです。実際は選択科目を増やしてこれ以上の単位を履修してください。

科目名後の丸数字は単位数

		1年次		2年次		3年次		4年次				
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
必修	教養	基礎	ベーシック・スキル1 ②			ベーシック・スキル3 ②						
			ベーシック・スキル2 ②									
計28単位	基礎	人間総合研究⑧										
		脚本基礎演習②	映画制作基礎演習⑧ 長編シナリオ演習Ⅰ②	長編シナリオ演習Ⅱ②								
選択必修	専門	専門基礎			雑誌制作⑧	インプロビゼーション演習⑧	文芸専門演習Ⅰ⑧ 〈読解・ライティングWS〉	文芸専門演習Ⅱ⑧ 〈批評〉	卒業制作(文芸)⑩〔通年〕			
					ドキュメンタリーWS②		脚本WS②					
計48単位	教養	専門基礎 3科目めからは選択科目に算入			デジタル動画WS②	動画配信WS② 映画プロデュースWS②						
			映画史	映画史概論②	日本映画史1 ② 日本映画史2 ②	ドキュメンタリー映画史②						
				映画史基礎② (単位付与は2年後期)								
			映画文化		サブ・カルチャー論②			テーマ研究3 ②	テーマ研究4 ②			
			文学・芸術	文芸映画論②	映画と文学②		文学②	映画と哲学② 演劇史②			英米文学②	映像と美術②
			歴史・社会科学	映画で学ぶ歴史と社会1 ②		映画流通論② 社会学②				映画で学ぶ歴史と社会4 ② 映画で学ぶ歴史と社会5 ②		
コミュニケーション							キャリア・サポート②					
合計124単位		計 20単位	計 18単位	計 20単位	計 18単位	計 16単位	計 16単位	計 2単位	計 14単位			